

熱中症にならないよう、気を付けて。



憲法の象徴
まひりまじょう
日本共産党北区議会議員
さがらとしこ
区政レポート
日本共産党議員団
2016.6.16. NO.1410.
ご相談はお気軽に
TEL とも **3905-0970**
FAX とも
さがらとしこ事務所
赤羽北3-23-17
(バス停「赤羽北3丁目」、メガシティ近く)

都民の怒り、舛添都知事 6/15 辞職願 共産党の追及



何のために領収書から
明細を外したのか

～2016.6.13. テレビ画面より～

6月15日 知事の辞職願 午後8時前 都議会全会一致で了承

●一連の疑惑は、日本共産党都議団が4月7日、舛添知事の高額海外出張の実態を告発したことが発端で、公用車の私的使用問題、政治資金の不正支出疑惑へと次々に、党都議団は、いち早く**百条**委員会の設置と、辞職を求めるとともに、6月13日に不信任決議案提出と表明。全会派共同提出と。

そねはじめ都議の都政報告

6/18(土) 赤羽駅東口は 3時半から
6/19(日) 赤羽駅西口は 4時半から



「孫もひ孫もこぼさない」
シニアズの19日宣伝
●6/19(日) 午後3時に、さがら事務所前に集合です。

都議会与党 変化のわけ

説明くり返しばかり
都議会へクレーム
3万1000件

2016/06/14



政治資金での家族旅行 シルクの中国服に 大量の美術品購入など 数々の公私混合ぶり

●「甘利元大臣のURの口きき疑惑もそうだし、きちんと疑惑を明らかにしてほしい」「政治資金って、ほとんど政党助成金でしょ。みんな、私たちの払った税金よ。」
都民の抗議3万2900件
(6/9まで)

政治とおカネ
問われる自公の責任
石原都政時代から

求められる真相解明

●都議会は、14日午後から15日(最終本会議)にかけて、不信任案提出議案や百条委員会の設置とめぐって、断続的な協議がつかまりました。
●午後8時4分、自民、公明などが百条委を否決した。

参院選(6/22 公示)につづいて
都知事選挙となりました。

北区議会16日建設委

- 次週の「さがらレポート」で詳細なご報告をさせていただきますが、私たちの地域にかかわって、次の内容で報告と都側の説明が行われます。
- 都宮桐丘団地の才6期計画について
- UR赤羽台団地、階段横にエレベーター
- 城山あと地の児童遊園建設について
- 桐丘団地内区有地に、新しい保育園建設など

2016年 6月19日(土) 10時45分 有楽町

戦争法廃止の国会をつくろう!

4野党党首がそろって初の街頭

沖縄では県民大会 海兵隊撤退を求めて



「平和の外交戦略」を提案

米軍基地 辺野古ストップ、普天間撤去を

6歳の少女がレイプされ、殺された由美子ちゃん事件(1955年)、島ぐるみの怒りが噴きあがった少女暴行事件(95年)、そして今回の女性暴行・殺害事件…。基地があるかぎり、悲劇はなくなりません。

基地のない沖縄へ、政府は辺野古新基地建設をキッパリ中止し、普天間基地の無条件撤去を米国に要求すべきです。

アジア外交 北東アジア平和協力構想を提唱

北 東アジアの平和と安定へ。日本共産党は、「北東アジア平和協力構想」を提案(右図)。「もめことは話し合いで解決。絶対に戦争にしない」——この外交力の発揮こそ、いま必要です。

「南シナ海での一方的行動は中止すべき」——日本共産党は中国共産党に直接提起しました。



憲法を破るだけでなく、安保条約の条文さえ勝手に乗り越えて、「海外で戦争する国」づくりなど認められません。野党と市民の共闘こそ、未来への希望があります。

書いていません。

憲法を破るだけでなく、安保条約の条文さえ勝手に乗り越えて、「海外で戦争する国」づくりなど認められません。野党と市民の共闘こそ、未来への希望があります。

安倍首相が持ち出す日米同盟「日米安保条約の条文には、日米が共同で軍事作戦を行うのは、日本の施政権下で日米いづれかに対する攻撃があったとき(5条)」と書いてあります。日本の実効支配の及ぶ地域で、外国からの武力攻撃が発生することが前提です。そうした武力攻撃がないのに、日米が一緒に戦争することは安保条約のどこにも書いていません。

安倍晋三首相が参院選1人区での遊説先で、「安保法制＝戦争法廃止と立憲主義回復」という大義を掲げた野党と市民の共闘を激しく攻撃しています。

その一つが、戦争法の問題。「平和安全法制を廃止することになれば、日本とアメリカの信頼の絆は断ち切られ、日米同盟は根底から覆される」というのです。

安倍政権は、「集団的自衛権の行使はできない」という歴代自民党政権の憲法解釈を「根底から破壊」し

戦争法こそ未来を壊す

「自衛」を口実にした米国の侵略戦争への加担です。

「自衛」と名はついていますが、日本の自衛とも、国民の命を守ることとも関係ありません。日本が攻撃されてもいないのに、同盟国が攻撃されたら一緒に戦争することであり、現実には「自衛」を口実にした米国の侵略戦争への加担です。

て集団的自衛権の行使を可能にしました。日米同盟なら憲法を無視してもいいという姿勢こそ大問題です。

憲法違反の核心部分である集団的自衛権の行使は、「自衛」と名はついていますが、日本の自衛とも、国民の命を守ることとも関係ありません。日本が攻撃されてもいないのに、同盟国が攻撃されたら一緒に戦争することであり、現実には「自衛」を口実にした米国の侵略戦争への加担です。

安倍首相は「戦争法廃止を求める」こんな無責任な勢力に、私たちの子どもたちの未来と平和を託すわけにはいかない」など叫んでいます。しかし、憲法そっちのけの独裁的な「戦争する国」づくりこそ、日本の未来を破壊するものです。

無法な戦争に日本の若者を駆り立てることです。戦争法廃止で「日米の絆が壊れる」のではなく「米国の戦争への参戦の危険がなくなる」のが真実です。

首相は「日米同盟の絆壊す」というが